

様式 4

附属機関等の会議結果概要報告書

平成 25 年 3 月 7 日

<p>附属機関等の 会議の名称</p>	<p>箱根町下水道運営協議会</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 25 年 2 月 21 日 (木)</p>
<p>開催場所</p>	<p>箱根町役場分庁舎 第 5 会議室</p>
<p>出席者</p>	<p>委員 : 会長 望月良臣、副会長 水田 昌子、松井 洋子、池谷 伊代子、福住 治彦</p> <p>町側 : 町長、瀬戸環境整備部長、矢田副課長、鈴木所長、千賀下水道工務係長、湯浅下水道業務係長</p>
<p>議題及び審議・ 協議結果等の 概要</p>	<p>議題(1) 「下水道処理施設の事業計画について」 鈴木浄水センター所長から「箱根町公共下水道長寿命化計画」に基づく平成 24 年度から平成 28 年度までの改築更新工事及び長寿命化工事について、説明を行った。 (質疑応答は、別紙のとおり)</p> <p>議題(2) 「その他」 下水道年報により下水道の概要説明を行った。 (質疑応答は、別紙のとおり)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 : 環境整備部 上下水道温泉課 下水道業務係 担当者 : 湯浅 誠 電 話 : 0460-85-9567 F A X : 0460-85-6814 電子メール : jousesuidou@town.hakone.kanagawa.jp</p>

箱根町下水道運営協議会質疑応答内容
(平成 25 年 2 月 21 日開催)

議題(1)「下水道処理施設の事業計画について」

委員：平成 25 年度の工事額の内、どのくらい国からの補助金がありますか。
全額ではなく、町が一部費用負担をしますか。

町：補助金につきましては、国と県からあり、国からは施設により 50%～
55%の補助を受けており、県補助金は 1.2%ほどの補助を受けております。

委員：概ね半分くらいが、町が負担するということでしょうか。

町：そのくらいの割合になります。

委員：長寿命化工事の自家発電設備とありますが、電気を買っているのでは
なく、自前で発電をしているという意味でしょうか。

町：処理場、ポンプ場は通常東京電力から受電している訳でございますが、
それが止まった場合の非常用の自家発電設備でございます。

議題(2) その他「下水道年報の説明」

委員：BOD の数値が流入に対して放流する時に良くなるということは、問題
ないということですね。

町：処理の方は、十分適正に行われているとご理解いただけると思います。

委員：水質は、毎日測定しているのでしょうか。

町：毎日測定しておりますが、項目によっては 1 月又は 2 月に 1 回という
ように頻度に違いがございます、BOD は月に 4 回測定しております。
それに近い指標で COD というものは、より簡易に測定できまして、毎日
測定しております。

委員：水質の数値に変動はないのでしょうか。年間を通して。

町：変動はございますが、排水の基準が 15mg/l でありまして、非常に低
いレベルで 1 mg/l から 2 mg/l の辺りで変動しておりますので、環境に
対して影響を与えない範囲で処理できていると考えております。

委員：年報の数値を見ても分かり辛いので、結果のところだけ一覧表で、年
平均、基準値を記載し、例えば湧水だとこの位というように簡単なものを
作成していただけないか。

町：その点に関しましては、分かりやすい指標と照らし合わせたりしたい
と思います。水には環境基準というものがございまして、早川、相模川な

どそれぞれ水系により違う基準がございまして、早川では2mg/lとなっており、基準と照らし合わせてどういう状況かという標記の方法について、今後ご意見を参考に検討させていただきたいと存じます。

委員：他の浄水場ではこんな数値ですが、箱根町では頑張っている数値ですというようなものがあるのであれば、観光客向けにも我々が説明しやすかったりしますが、いかがでしょうか。

町：おっしゃることは分かりますが、他の浄水場との比較となりますと問題になりますので、その点をご理解願います。

委員：箱根の浄水センターに流入する汚水は、他市町村と比較してきれいなのでしょうか。

町：箱根の特徴は、工場排水がありません。旅館・ホテル等が多いですが、生活排水系が多いことから、一般的な住居地と比較すると大きな数値の差はございません。箱根は、一般的な流入水であるのご理解いただければと思います。

委員：宮城野でも早川にホタルが飛んできて、水もきれいになってきていると嬉しく思っていますが、堤を歩いていると、汚い水が流れてくることがありますが、それは何でしょうか。

町：委員さんと見た水が違うかもしれませんが、仙石原と宮城野の間に大涌沢というのがございまして、雨が降ると沢の底に溜まった自然界由来の堆積物が一気に流されてきたりする場合があります、そういうことも考えられます。早川については宮城野浄水センター上流と下流で水質測定を行っておりますが、水質的なデータで大きな異常はございません。自然界由来の汚れなのかなと考えております。

委員：中央自動車道のトンネル崩落事故などがあり、耐用年数が言われている中で、従来安全だと言われていたものが信用度が不安なものもあります。下水道もそうですが、橋が危ないと聞いているが、限られたお金の中で公共下水道が手を広げ過ぎるのもいかがなものかと印象は持っています。長期計画で社会資本整備をされますので、急に方向転換はできないと思いますので、大変危惧しております。従前の施設の維持管理も大変だし、今後新規に施設を造っていくと予算が徐々に増えていくというイメージがあり、それに関する維持管理費もかかると思うので、町の人口の推移とか日本全体の人口の推移などあると思いますので、適宜見直しが行われるタイミングがあると望ましい。

委員：もし工事をやるとしたら国が半分、町が半分くらい負担することになるのでしょうか。

町：事業費の約半分は、国からの補助金となります。残りの内9割は起債という形で、残り町からの繰入金で充てています。事業としては、全体の5%の現金があれば工事ができます。起債は、借金ですので、世代間の公平性ということもありますが、借金は少なくしたいと考えております。

委員：小田原へつなぐと今度は、小田原市との話になるのでしょうか。

町：事業主体は、神奈川県が行っております。幹線は、小田原市の土地を通ることから住民感情とかあるかもしれませんが、事業主体は神奈川県であり、小田原市を含む2市7町に了解を得ているので、問題はありません。県は、節水の関係で料金が少なくなっていることから見直しを行ったことから、箱根町も入っても大丈夫ということでしたので、処理場を建設するよりは、酒匂の流域に持っていった方が安いので、入れさせてもらいました。お金はかかりますが、処理場が2つもあることから、3つ目を選択するよりは流域の方が得ということでした。